

令和2年3月10日



武蔵野記者クラブ員 各位

武蔵野市総合政策部秘書広報課

新型コロナウイルス感染症対策専門家会議を設置し、 今後の対応に関する情報共有と意見交換を行いました

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が、国際的に懸念される状況であり、国内においてもさらなる感染拡大が危惧されています。

このような中で、市では1月31日に「武蔵野市新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置し、小・中学校の休業や市の主催事業等の中止・延期などの対応を行っているところです。

そして、3月9日（月）に市医師会、武蔵野赤十字病院等の医師などで構成する「武蔵野市新型コロナウイルス感染症対策専門家会議」を設置し、同日第1回目の会議を開催しました。



第1回専門家会議の様子

- 1 専門家会議設置日時 令和2年3月9日（月）
- 2 第1回専門家会議 令和2年3月9日（月）午後7時～8時30分
- 3 会議委員構成 武蔵野市医師会会長 田原 順雄氏（座長）
武蔵野赤十字病院小児科部長 感染管理室長 長澤 正之氏（副座長）
杏林大学医学部付属病院 感染症科准教授 倉井 大輔氏
武蔵野市医師会副会長 中嶋 伸氏
多摩府中保健所長 田原 なるみ氏
以上5名

4 専門家会議の主な内容

専門家会議では、市のこれまでの新型コロナウイルス感染症に対する対応についての情報共有を行なったほか、今後の市の対応策について専門家会議委員と意見交換を行いました。今後も専門家会議の意見を参考としながら、市の方針を決定していくとともに、各関係機関との協力、情報共有を密にし、新型コロナウイルス感染症対策にあたっていくことが確認されました。